

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合英語 A I
科目基礎情報					
科目番号	2020-617		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	『Revised BIG DIPPER English Communication I』 『BIG DIPPER English Communication I ワークブック』 『BIG DIPPER English Communication I ベーシックノート』 『必携英単語 LEAP』				
担当教員	高瀬 祐子				
到達目標					
教科書が扱う説明文や物語を読んで、概要を把握できる。 語・句・文における基本的な強勢と文のイントネーションや区切りを正しく理解して、聴き手に情報が正しく伝わる音読および発話ができる。 学習した文法や語彙を用いて自分の考えを易しい英文で表現することができる英語運用力を養う。 英文の理解や、英語で表現する際に必要な語彙を身に付けることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	□基本的語法、文法の知識を持って英文を正確に理解できる		□基本的語法、文法の知識を持って英文を概ね理解できる		□基本的語法、文法の知識が乏しいため、英文が理解できない
評価項目2	学習した語彙、語法を使って自分の考えを上手に口頭で伝えることができる		学習した語彙、語法を使って自分の考えを概ね口頭で伝えることができる		語彙、語法の理解が不十分のため、自分の考えを口頭で伝えることができない
評価項目3	学習した語彙、語法を使って自分の考えを正確に英文にすることができる		学習した語彙、語法を使って自分の考えを概ね英文にすることができる		語彙、語法の理解が不十分のため、自分の考えを英文にすることができない
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標 (本科のみ)】 4					
教育方法等					
概要	中学3年生までの既習事項を土台にして、4技能を統合した英語力の向上を目指す。授業では、教科書の読解、音読、筆写、英作文の他、単語テストを定期的に行い、そのテストの結果は成績評定の一部とする。また、英語の相互使用を確保し、学びを深めるために協同学習 (ペア学習、グループ学習) も適宜取り入れ、協力して学び合う姿勢も英語コミュニケーション能力の一部として養成していくので、積極的な授業参加を求める。				
授業の進め方・方法	教科書本文を使いながら語彙を増やし英文の意味を取りながら英語に慣れていく。音読を行って英語の定着をはかる。『ベーシックノート』を使って予習、『ワークブック』を使って復習をする。また、英語の発音、アクセント、イントネーションについても指導し、音声によって英語の語順とリズムを体得する。また、『必携英単語 LEAP』を使い、定期的に単語の小テストと中テストを行う。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教材は同じであるが、授業担当者が複数名いるため、状況 (クラス毎の習熟度や、学習意欲・態度の差、授業担当者の授業方針等) によって進捗やテスト範囲、課題が異なる場合がある。各授業担当者から指示を受けること。 ・『必携英単語 LEAP』は授業内小テスト用や夏休み課題用や自習用として使う予定である。 ・評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第1回: ガイダンス 第2回: Lesson 1	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		2週	第3回: Lesson 1 第4回: Lesson 1	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		3週	第5回: Lesson 1 第6回: Lesson 1	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		4週	第7回: Lesson 2 第8回: Lesson 2	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		5週	第9回: Lesson 2 第10回: Lesson 2	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		6週	第11回: Lesson 2 第12回: Lesson 3	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		7週	第13回: Lesson 3 第14回: Lesson 3	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		8週	第15回: Lesson 3 第16回: Lesson 3	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
	2ndQ	9週	第17回: Lesson 4 第18回: Lesson 4	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		10週	第19回: Lesson 4 第20回: Lesson 4	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		11週	第21回: Lesson 4 第22回: Lesson 5	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		12週	第23回: Lesson 5 第24回: Lesson 5	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		13週	第25回: Lesson 5 第26回: Lesson 5	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	
		14週	第27回: Lesson 6 第28回: Lesson 6	学習内容を確認して知識を確認できる	
		15週	第29回: Lesson 7 第30回: Lesson 7	本文内容の理解ができる 本文の意味を考えながら適切に音読できる	

	16週	第31回：確認テスト 第32回：確認テスト	前期に学習した内容について確認する
--	-----	--------------------------	-------------------

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1		
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1		
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前6	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1		
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前11
			評価割合			
		試験	課題	合計		
総合評価割合		70	30	100		
基礎的能力		70	30	100		